

## コミュニケーション技術Ⅱ

担当教員 佐藤 嘉倫

配当年次 2年

開講時期 第1学期

単位区分 選択

授業形態 講義

単位数 2

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

- ・コミュニケーション障害のある利用者を理解する視点を学び、適切なコミュニケーションの実践が可能とする。
- ・文書（記録・報告書など）を通して、介護実践に必要とされる情報を関係者に伝達する技術を学ぶ。
- ・個人情報扱い方や情報の共有、管理の仕方を理解し、実践可能とする。

## 【授業の展開計画】

[授業全体の内容の概要]

- ・事例を通して、コミュニケーション障害のある利用者へのコミュニケーションのとり方の基本
- ・介護実践に必要な記録、会議のあり方

週	授 業 の 内 容
1	コミュニケーション障害とその原因
2	コミュニケーション障害のある利用者への対応（視点、対応の基本 他）
3	高次脳機能障害のある人とのコミュニケーション（事例）
4	失語症、構音障害のある人とのコミュニケーション（事例）
5	認知症（若年、高齢者）のある人とのコミュニケーション（事例）
6	視覚に障害のある人とのコミュニケーション（事例）
7	聴覚に障害のある人とのコミュニケーション（事例）
8	知的、精神に障害のある人とのコミュニケーション（事例）
9	介護におけるチームのコミュニケーション
10	介護における記録の意義、目的、種類
11	介護における記録の書き方と留意点、活用と保護・管理
12	報告・連絡・相談の意義と目的、方法と留意点
13	会議の意義と目的
14	会議の種類、方法、留意点
15	振り返り

## 【履修上の注意事項】

- ・講義前に教科書の該当ページを一読してください。
- ・講義時の演習に積極的に参加してください。

## 【評価方法】

- ・レポート
- ・授業への参加態度（積極的なロールプレイによるコミュニケーション技術の習得）

## 【テキスト】

新・介護福祉士養成講座「コミュニケーション技術」中央法規

## 【参考文献】